

平成30年度業務実績評価にかかる論点整理表

(教育研究の項目)

| 番号    | 年度計画  | 実施状況等  | 委員コメント | 評価委員会<br>コメント |
|-------|---|--|--------|---------------|
| 21104 | <p>＜アドミッションポリシー*の明確化＞</p> <p>平成31年度からの新カリキュラムに適應したアドミッション・ポリシー*の改正を完了し、入試方法とともに様々な広報媒体を通じて周知する。</p> | <p>これまでの研究科カリキュラムにおいては、「修士論文コース」と「専門看護師 (CNS) コース*」であったが、平成31年度からのカリキュラムには、これらに加えて「臨地教育者コース」を各看護専門分野に設置することとした。このカリキュラム改正に伴いアドミッション・ポリシー*も3つのコースに適應するように改正し、平成30年度に実施した平成31年度大学入試にかかる募集要項等に掲載し、入学希望者や関係機関への周知に努めた。</p> <p>[補足資料: 三重県立看護大学看護学研究科看護学専攻(修士課程)平成31年度入学生募集案内]</p> |        |               |

(教育研究以外の項目)

| 番号    | 年度計画  | 実施状況等   | 法人<br>評価 | 委員<br>評価 | 委員コメント | 委員会<br>評価 | 評価委員会の<br>判断理由 |
|-------|---|---|----------|----------|--------|-----------|----------------|
| 23104 | <p>＜卒業生への継続的教育＞</p> <p>卒業生支援事業として「卒業生支援構想プロジェクト」及び「卒業生きずなネットワーク事業」を開催する。また、卒業生に本学の大学院進学や認定看護師教育課程の紹介を積極的に行っていく。</p> | <p>「卒業生支援構想プロジェクト」は2年目となり、同窓会と協力して卒業生の交流支援を夢緑祭に合わせて開催した。「卒業生支援構想プロジェクト」は、平成31年度以降の具体的な支援や実施に向けた対策を検討し、募集内容やプロジェクト名の変更を決定した。</p> <p>卒業生の離職防止を図るため、卒業生同士が、仕事上の悩みなどを相談、共有できる「卒業生きずなネットワーク事業」を2回(5月と3月)開催し、延べ93名が参加、満足度は96%であった。アンケート内容からは、事業継続の希望が多かった。</p> <p>卒業生とのネットワークを強化するため、同窓会と協力・連携して連絡会議を2回(8月と2月)開催した。</p> | IV       |          |        |           |                |